

海と山。人と街。日立の暮らしをこの一冊に。

HITACHI Base



日立市ガイドブック



® 日立市公式キャラクター

移住相談窓口のご案内

日立市への移住を検討・希望されている方に対して、ご希望のスタイルをお伺いし、「お住まい・お仕事・地域の情報」や「移住に関する助成」など、さまざまな疑問にお答えし、皆様の移住をサポートします。お問合せは、電話、メール、窓口等にて対応していますので、お気軽にご相談ください。

対応時間 8:30-17:15 (平日のみ)
電話番号 0294-22-3111 (内線583)
メール iju@city.hitachi.lg.jp

ポータルサイト



※日立市移住ポータルサイト「ひたちぐらし」に各種移住支援制度や実際に日立市に移住した方の記事を掲載しています。ぜひご覧ください。

日立市ガイドブック HITACHI Base

発行 日立市 (市長公室広報戦略課)
茨城県日立市助川町 1-1-1
制作 ひたちファンクラブ
TEL 0294-22-3111
IP電話 050-5528-5038
令和8年3月発行

日立市HP



日立市公式 SNS



CONTENTS



- 01 日立市の紹介
- 03 春 まち全体が桜色
- 05 夏 花火と海水浴
- 07 秋 山の紅葉と里山の恵み
- 09 冬 澄んだ空気とやわらかな陽ざし
- 11 日立市で暮らす / 共創プロジェクト
- 13 福祉・医療：ひたちの子育て
- 15 福祉・医療：人生100年時代を見据えて
- 17 教育・文化：ひたちで育む未来のチカラ
- 19 産業：世界に開かれたものづくりのまち
- 21 都市基盤：ひたち都市網 / スマートモビリティ都市
- 23 生活環境：「もしも」に備え、「いつも」を支える
- 25 協働：人がつながり、まちは育つ
- 27 歴史をひもとく
- 29 ひたちの成り立ち
- 31 ふるさと日立大使
- 32 日立市のオンリーワン・ナンバーワン
- 33 ひたちロケ地マップ
- 35 海と山とまちをたのしむ まるごとひたちマップ
- 37 数字で見る日立市

市のシンボル / 姉妹都市、親善・友好都市



日立市は、田園風景が続く
 広々とした関東平野が終わり、
 阿武隈山地が立ち上がることに
 あります。

山を背にし、南北に延びる、
 海沿いの温暖なまち。

「日立」の名は、徳川光圀公が、
 海から昇る朝日の美しさに
 「日の立ち昇るところ領内」と
 称えた故事に由来すると言わ
 れています。

その美しい日の出の風景を
 日々の暮らしの中で眺めること
 ができるまち。

坂が多く、市街地の向こうに
 海が見渡せる風景を各所で楽し
 むことができます。

明治時代、銅の採掘と製錬
 によって人口が急増。鉱業と
 電気機械工業を中心に発展し、
 日本有数の工業都市として成長
 してきた「ものづくりのまち」
 です。



春

Spring in Hitachi

まち全体が桜色。穏やかな日立の春は
お散歩が気持ちいい。

ひたちふうりゅうもの
日立風流物



高さ15mの巨大な5層の山車の上でからくり人形芝居が演じられる日立風流物。毎年「日立さくらまつり」では1基、7年に一度開催される「神峰神社大祭礼」では東町・北町・本町・西町の山車4基が一堂に公開されます。

日立の春は、桜と共にあります。

日立紅寒桜が3月上旬に見頃を迎え、あんず通りの杏が咲くと次はいよいよソメイヨシノ。平和通りのソメイヨシノが4月上旬に咲き、「日立さくらまつり」が開催されます。歩行者天国となった平和通りにたくさんの方が訪れ、まちが一年で最もにぎわいます。

市街地の桜が終わると、山の桜が咲きだします。神峰山中腹の大煙突の周りは群生するオオシマザクラの花で真っ白になります。

続いてサトザクラが咲きだし、かみね公園や多賀の大学通りで楽しめます。

桜が終わると新緑の季節。けやき通りのケヤキの葉が青々としてきます。新緑の小木津山自然公園で森林浴も気持ちがいい。



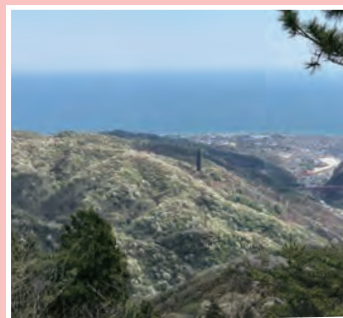
Find your favorite spring in Hitachi.

ひたちの春をさがして



十王パノラマ公園

十王ダムを見下ろす高台に約400本の桜があります。高さ20mのUFO展望台からは阿武隈山系の山々や太平洋など360度見渡せます。



今が旬!

日立の春のおいしさ



生しらす丼



釜揚げしらす

かみね公園

園内外にソメイヨシノなど25種類、約1,000本の桜が咲き誇り、遊園地の乗り物に乗りながら楽しめます。日本の「さくら名所100選」に選ばれています。

大煙突とオオシマザクラ

大煙突の周りには煙害対策で植えられたオオシマザクラが群生し、4月中旬頃真っ白に山が染まります。

春のイベント

四月上旬

日立さくらまつり



日立市の春の風物詩。日本の「さくら名所100選」の一つである平和通りで、通りの一部が歩行者天国になり、「日立風流物」の公開や屋台の出店、ステージイベントが催され、多くの人でにぎわいます。

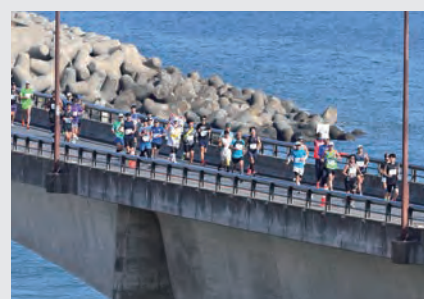
日立さくらロードレース



平和通りの桜のアーチの下を、親子コース1.8km、10km、ハーフマラソンまで、たくさんのランナーが駆け抜けていきます。

五月中旬

ひたち国際大道芸



通常は車両専用の「日立シーサイドロード」もコースの一部になっており、ランナーは海の上からの絶景を楽しめます。

国際色豊かなストリートアーティストが集まり、ジャグリングやアクロバット、パントマイム、マジックなどを繰り広げる、笑いあり!感動あり!驚きあり!の2日間。

1日目は日立会場(日立駅前)
2日目は多賀会場(常陸多賀駅前)で開催されます。



夏

Summer in Hitachi

花火と海水浴。
身近にある海を楽しむ季節。



シーグラス
探しも楽しい



海水浴

7月中旬から8月中旬までの約1か月間、6つの海水浴場が開設され、多くの海水浴客でにぎわいます。



河原子海水浴場



伊師浜海水浴場



川尻海水浴場

夏のイベント

七月～八月

海水浴場開設

白い灯台が立つ海岸段丘の下に広がる、遠浅の久慈浜海水浴場。海岸沿いに連なる緑の松林と白い砂浜が美しく、「白砂青松百選」に選ばれている伊師浜海水浴場。大勢のサーファーが朝から波を楽しんでいる河原子海水浴場。お気に入りの海水浴場を見つけよう。

南北に長い海岸線を持つ日立市には、7つの港があります。そのうち、日立港、河原子港、会瀬港、川尻港では、7月の終わりから8月の終わりにかけ、花火大会が開催されます。海水浴場は、北から伊師浜、川尻、会瀬、河原子、水木、久慈浜の6つ。遠浅の美しい砂浜、磯のある海岸など個性ある海の風景が南北に連なっています。

波の音、海から昇る朝日、砂浜に打ち上げられたシーグラス、漁港に水揚げされる海の幸。日立の暮らしに、海はたくさんの恵みと彩りをもたらしてくれます。

夏の盛り、夕方涼しい風を感じながら「夜の動物園」へ。ふだんとは違う動物たちの姿にドキドキ。遊園地の観覧車から望むまちの夜景も美しい。

夏が冒険に変わるまち

Where summer becomes an adventure.



諏訪梅林で川遊び

そばを流れる鮎川は、水深が浅く流れが穏やか。安心して川遊びができます。

今が旬!

日立の夏のおいしさ



伊勢海老



彦宮かぼち

夜の動物園

8月中旬に開催される「夜の動物園」では、夕暮れから夜にかけて活発になる動物たちのふだん見られない姿を観察できます。

サーフィン

河原子海岸は、サーフィンのメッカ。早朝から大勢のサーファーが沖に出て波を待っています。



夜のライトアップされた動物園と遊園地は、昼間とはまったく違う幻想的な雰囲気。大勢の人が訪れ、真夏の特別な夜を楽しみます。



ネコ科、元気いっぱいです!



夜行性のアライグマも目がキラキラ

夜の動物園・遊園地

八月中旬



花火大会

七月下旬～八月

7月下旬の「日立港まつり花火大会」、8月初めの「ひたち河原子花火大会」、お盆の「会瀬夏祭り花火大会」、8月下旬の「豊浦学区夏まつり花火大会」と、日立の夏は花火大会が続く。間近で迫力ある打ち上げ花火を体感できます。

- ISHIHAMA 伊師浜海水浴場
- KAWAJIRI 川尻海水浴場
- OUSE 会瀬海水浴場
- KAWARAGO 河原子海水浴場
- MIZUKI 水木海水浴場
- KUJIHAMA 久慈浜海水浴場



Autumn in Hitachi

山の紅葉と里山の恵み。
秋の日立はお出かけの季節。



小木津山自然公園

広大な敷地に広葉樹の山と小川、滝、池があり、山歩きや小川遊び、森林浴、バーベキューなどを楽しめます。日本一古い約5億年前のカンブリア紀の地層も見られます。

9月も半ばを過ぎると、暑さがやわらぎ、外で過ごすのが心地よい季節がやってきます。紅葉の美しい小木津山自然公園、山頂の東屋から太平洋が見渡せる助川山市民の森、アカトンボが舞う赤羽緑地など、日立市には歩いて自然に親しめる公園が身近にいくつもあります。

田んぼの稲穂や山の紅葉を眺めながら、高原や中里の里山を歩くのも楽しい。

秋は、実りの季節。折笠のぶどう、中里のりんごとぶどうなどを求め、ドライブするのもいい。

読書の秋、日立市には図書館が4つもあり、読書環境が充実しています。貸し出し制限がなく、何冊でも借りられるのが嬉しいところ。秋のやわらかな陽射しを感じ、屋外で読書するのも心地よい。



私たちの秋は、心を満たす実り

Hitachi's autumn is rich in color and flavor.



今が旬!

日立の秋のおいしさ



ぶどう



りんご

ぶどう園

「折笠観光ぶどう園」と「中里フルーツ街道」で9月頃からシャインマスカットや巨峰などのぶどうを購入できます。

中里フルーツ街道

16の果樹園が、ぶどうやりんご、ブルーベリーなどを栽培しています。採れたての果物を購入でき、収穫体験ができる果樹園もあります。



スポーツ観戦

日立市を拠点とするトップスポーツチームを身近に観戦できる環境が整っています。試合日には県内外から多くのサポーターが訪れにぎわいます。

秋のイベント

十月

ひたち秋祭り



新都市広場で、日本各地の郷土芸能団体や和楽器奏者が圧巻のステージを披露。地元の子もたちによる日立の伝統芸能の上演も見逃せません。

十月末

旬漁祭



あんこうの吊るし切り!



道の駅日立おさかなセンターで開催される、茨城の秋の味覚を楽しめるイベント。あんこうの吊るし切り実演やさんまのつかみどり体験などのほか、あんこう汁など、地元の旬の魚介を堪能できます。

十一月

ひたちシーサイドマラソン



十一月

絶景と修行のフルコース!
全国のランナーが集結!



日立シーサイドロードや河原子海岸など、太平洋を間近に感じながら、充実した地元の食材や沿道の温かい応援を楽しめる、走りごたえ満点のフルマラソン大会。コースのアップダウンは、まさに修行! ゴールの先に忘れられない思い出があなたを待っています。

日立市産業祭



日立市の野菜や魚介類、市内事業者の自慢の逸品や工業製品の展示・販売、国内親善都市(桐生市)と友好都市(山辺町)の特産品の展示販売などが行われます。



冬

Winter in Hitachi

澄んだ空気とやわらかな陽ざし。冬の日立は、晴れの日が多い。



海の上の星空

夜が長い季節。海の上に広がる星空が美しい。

日立の冬は、空気が乾いて、晴れの日が多い。阿武隈山地の山に西風がさえぎられ、日立の冬は穏やかで、ほとんど雪が降りません。

すっかり日が短くなり、夜が長い季節。美しい星空が海の上に広がります。シビックセンターのプラネタリウムで聴いた星空解説を思い浮かべながら、満天の星空を楽しみましょう。

日立は、山もいい。冬は、木々の葉が散って明るくなり、遠くの景色を見渡せる日立アルプスの山々を山歩き。時には、山を走るのも気持ちがいい。

元旦には、海岸や高台などで海から昇る初日の出を心待ちにする大勢の人の姿が見られます。

冬は、新酒の季節。4つある酒蔵に新酒を求めて訪ねるのも楽しい。



Crisp air and sunlight that warms the heart.

澄んだ空気と、やわらかな陽ざし

冬の晴天率70%

冬の日立は、晴れの日が多く、カラッとしています。



今が旬!

日立の冬のおいしさ



あんこう鍋



茂宮白菜



新酒の季節

市内には、県内最多の4つの酒蔵があります。阿武隈山地の良質な地下水でつくられた個性豊かな日本酒を味わうことができます。

トレイルランニング

なだらかな山が連なり、登山道がよく整備されている日立の山は、トレイルランニングに最適。

日立市民凧あげ大会

一月



伝統凧「八つ凧」の模範演技や手作り凧あげコンテストが行われる新年ならではのイベントです。



初日の出・初詣

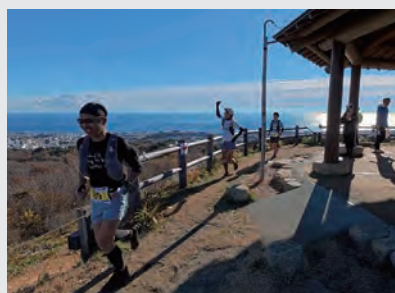
一月

海岸段丘の上にあるため、坂の多い日立市では、あちらこちらで太平洋を見渡せます。元旦には、「日立」の名前の由来となった美しい日の出を見ようと、たくさんの人が海辺に集まります。御岩神社、神峰神社、泉神社、大甕神社など、由緒ある神社も多く、大勢の初詣の人たちでにぎわいます。

日立アルプス

OCEANトレイル

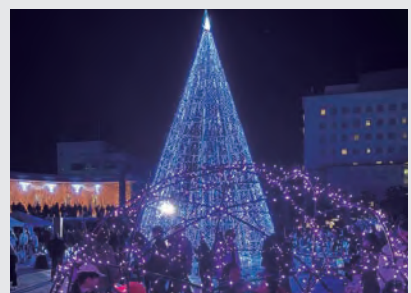
十二月



奥日立きららの里を起点に日立アルプスを走るトレイルランの大会。美しい山並みと山頂から望む雄大な太平洋の眺望など、自然の恵みを感じながら冬の山を駆け抜けましょう。

イルミネーション

十一月中旬



Hitachi Starlight Illumination

新都市広場にイルミネーションが灯ると、冬の訪れが間近。点灯期間は1月中旬まで。期間中は点灯式や野外コンサートなど様々なイベントが行われます。

冬のイベント

日立市で暮らす



コミュニティ活動が活発なの？



子育て支援が充実しているって聞いたよ？



日立駅がカッコいい！



ラジオ体操やって日立市ゆかりなんだ



海も山もあって楽しみがいっぱい



ワクワクする新しい取組はないかな？



人生100年時代。日立市での暮らしって？



やっぱり日立市はものづくりだよ

共創で新たな歴史を刻む 次世代型みらい都市ひたち

日立市のまちづくりの歴史的な気風である市民・企業・行政が共に手を携え創り上げる「地域共創」の精神。その精神を引継ぎ、様々な課題を乗り越え、未来を切り拓き、全ての世代が幸せを実感できるまちへ。

Let's Go!

日立市の主な事業を紹介

詳細は、こちらから



アンケート実施中
ご協力お願いします。

探してみよう！

共創プロジェクトには
このマークがあります！



日立市 × HITACHI 次世代未来都市共創プロジェクト



現代社会の複雑かつ様々な社会課題を乗り越えるためには、市民の思いを中心に行政や企業などが一体となり、まちづくりを進める必要があります。これらの取組を推進することで、日立市が産業都市として培ってきたイノベーションの精神を礎に、環境・幸福・経済成長が調和する、一人ひとりが主役の持続可能な未来をめざします。

本プロジェクトでは「グリーン産業都市の構築」、「デジタル健康・医療・介護の推進」、「公共交通のスマート化」の3つのテーマを先行的に取り組んでいます。

2050年の日立市の未来像を掲げ、その実現に向け取組を進めています。



日立市と(株)日立製作所は、デジタル技術の活用と共創活動の推進を通じて、日立市の活性化とすべての人が豊かに生活することのできる安全・安心なまちの実現をめざし、令和5年12月に「デジタルを活用した次世代未来都市(スマートシティ)計画に向けた包括連携協定」を締結しました。

PICK UP

スマートシティをめざす
次世代未来都市

共創プロジェクト

私たちの子育て

海風を日々感じ、すぐに海岸に行き、海遊びができる日立のまち。

海を見渡せる山へも1時間ほどで登ることが出来ます。

かみね公園には、動物園と遊園地があり、休日には親子連れがいっぱい。

雨の日も、日立駅前の商業施設「ヒタチエ」内の「ハレニコ」で子どもたちを遊ばせたり、シビックセンターの科学館「サクリエ」やプラネタリウム「天球劇場」で学び遊ぶことができます。

市内には4つの図書館があり、中高生のスタディスペースもいろいろな場所に設置されています。

子育て支援も充実。地域医療の充実に加え、日立市独自の6つの無料で子育てをサポート。「ひたちこそだておうえんウェブ」で子育て情報に素早くアクセス。市内各地の子育て支援センターなどで他の親子と共に遊び、専門スタッフに相談もできます。

日立市の子育て応援

日立市独自の6つの無料で子育てを完全サポート！

<p>18歳まで医療費が ずーっと</p> <p>無料</p>  <p>自己負担は後から口座振込</p>	<p>ひとりで頑張らないで！ ヘルパー派遣料が</p> <p>無料</p>  <p>※産前産後に支援が必要な方で近くに頼れる親族等がない方に限ります。</p>	<p>家計にやさしい！ 第2子以降の保育料が</p> <p>無料</p>  <p>※世帯収入により多子計算方法が異なります。</p>	<p>小中学生の間の 愛情たっぷりの給食が</p> <p>無料</p>  <p>日立市が提供しているすべての児童・生徒の給食費が無料</p>	<p>入学時にランドセル・ スクールカバン贈呈！</p> <p>無料</p>  <p>小学校、中学校入学時に日立市から全員にプレゼントされます。</p>	<p>楽しく遊んで 学べる施設が</p> <p>無料</p>  <p>小中学生に配布している「ひたち大好きパスポート」の利用で14施設の入場料が無料</p>
--	---	--	--	---	--

地域医療の充実

県北地域で唯一の第三次救急医療を担う地域医療の中核である日立総合病院を中心に、救急医療や安心して出産、子育てができるよう、医療機器整備や医師確保への財政支援など医療体制の整備・拡充を図っています。

地域周産期母子医療センター

新生児治療室（NICU）などを備え、産科と小児科が連携して高度な治療を行うための「地域周産期母子医療センター」が設置されています。

オンライン医療相談 / オンライン診療 **共創!**

スマートフォンなどを使って、医師によるチャット相談を24時間365日受けられる「オンライン医療相談」、夜間や休日に利用できる「オンライン診療」があります。

【対象】オンライン医療相談：中学生以下のお子さんがある世帯の方
オンライン診療：中学生以下のお子さん

『はじめての一步』を応援する子育てサポート



- 不妊治療や不育症治療を受けるご夫婦に対して、**治療費の一部を助成**しています
- お子さんの誕生を祝って **出産祝金贈呈**
- おむつやミルクなどの **6万円分のクーポン券贈呈**
※日立総合病院または高萩協同病院で出産した市民の方が対象になります。
- 予防接種のスケジュール管理を「**ひたち母子手帳アプリ**」が応援
- 日立市に住む、市内事業所に医療等の専門職で就職するなどにより奨学金返還を **最大全額補助**
- マイホーム取得助成、**最大150万円**（山側住宅団地内に中古住宅を購入し、リフォームをした場合）
※新築住宅を対象とした助成もあります。
- 産後の健康診断も費用補助があって安心

「ハッピー子育て」
ひたちこそだて
#おうえんウェブ




市内4つの図書館と豊富なスタディスペース

日立市には図書館と充実したフリースペースや自習室がたくさんあって、市内の学生たちがそこで上手に過ごしている。成長期の子どもたちには、学校と家の他にも居場所がある方がいい。



エレファントカフェの
かみねバーガー



常陸牛がジュースで茨城県特産のレンコンが楽しい食感。コーヒーも美味しい。

かみね動物園

子どもが歩くようになったら、「年パス」を買って通ったかみね動物園。動物たちとの距離が近く体験も豊富で、併設のカフェはゾウさんと海を眺めながら美味しいハンバーガーが食べられる。



広いビーチは最高の遊び場

日立市には広くてきれいなビーチがたくさんあって、海遊びも外せない。全力で走るもよし、気が済むまで砂遊びをするもよし。サーフィンを楽しむ親子も。海の風を感じながら子どもと過ごす時間は、振り返ると宝物。



Hiタッチらんど・ハレニコ!

日立駅前の商業施設「ヒタチエ」に北関東最大級の全天候型の子どもの遊び場がある。子どもたちが全力で遊べるポーネルド社の遊具は年齢に応じて様々。ハイハイの赤ちゃんから小学生まで楽しめる。ゾーンが分けられているので全員大満足。1クール90分の入れ替え制。



先輩パパママから聞く！
おすすめスポット



人生100年時代を見据えて

日立市は、「人生100年時代を見据えた健康づくり」を掲げ、子どもから高齢者まで、すべての世代が健やかに生き生きと暮らせるまちをめざしています。

予防に力を入れ、健康診査やがん検診、生活習慣病の早期発見、専門のスタッフによる健康相談、食事相談、口腔ケア相談などを定期的に実施しています。

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「地域包括支援センター」を窓口として設けています。また、高齢者の生きがいづくりやスマホ活用の支援、居場所づくりなどにも取り組んでいます。

さらに、日立製作所と連携し、「住めば健康になるまち」をめざす共創プロジェクトを実施。「地域医療のデジタル化」、「地域包括ケアシステムの構築」、「健康データの集約・活用」の施策に取り組んでいます。



福祉のまちひたち

高齢になっても、健やかに生き生きと暮らせるまちをめざしています。

デジタル健康・医療・介護の推進

共創!

共創プロジェクトでは、日立製作所と連携し、「住めば健康になるまち」の実現に向けて、各取組を推進しています。デジタルを活用した健康を支える環境づくりや、医療・介護の連携によるケアの質の向上、医療サービスへの



アクセス向上などを推進し、一人ひとりに合った健康・医療・介護サービスの提供によって、安心して健康に生活できるまちの実現をめざしています。

地域包括支援センター

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で、安心した生活が続けられるように支援を行う総合窓口です。医療・介護・福祉などの専門スタッフがチームとなって、高齢者やその家族からの相談受付や高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援を行います。8つの地域包括支援センターを中心に、医療や介護等の関係機関、地域コミュニティ、民生委員が連携を取って地域全体で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の推進を図っています。



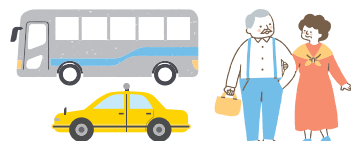
健康診査・がん検診

胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・肺がんなどの検診を実施しています。また、特定健康診査、後期高齢者の健康診査、39歳以下の健康診査を無料で受けられます。



高齢者おでかけ支援事業

外出の機会をつくり、いつまでも元気に生活できるよう、一定の要件を満たした高齢者に対してタクシー乗車費の助成と路線バス運賃カードの割引販売をしています。



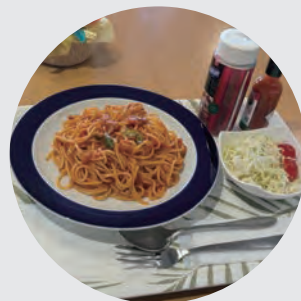
高齢者 ICT 活用支援

デジタル活用に不安のある高齢者のための「高齢者 ICT 相談コーナー」をヒタチエや「元気カフェ」などで実施しています。タブレットやスマートフォンの初心者向けの講座も開催しています。



元気カフェすけがわ

元気カフェすけがわで昼ご飯。元気カフェは、「すけがわ」の他にも「くじはま」「あゆかわ」の3か所あり、ランチやケーキなどリーズナブルでおいしいメニューが揃う。



趣味のゴルフを楽しむ

認知症の方や家族を支援するボランティアグループ「チームオレンジ」の皆さんとゴルフを楽しんだ。最高のリフレッシュになり、妻からは「顔が明るくいきいきしている」と言われた。

子どもたちの登校を見守り

朝から元気すぎる子どもたちの登校を見守る。見守り隊を始めた年の子どもたちがもう6年生になっていて、身長も自分とあまり変わらなくなってしまった。毎日子どもたちからエネルギーをもらっている。



どんな日も変わらず昇る朝日

太平洋から昇る朝日を眺めて、1日が始まる。体調に耳を傾けて今日のコンディションを感じる。朝日を浴びれば自然と目が覚めていく。

支え合い、繋がっていく
ひたちを楽しむ日々

思い立ったが吉日

最近外国人観光客が増えたので英会話を勉強中。日立市には「生きがいづくりチャレンジ応援事業」があり、資格等の取得に要した費用の一部を負担してくれる。



ひたちで育む未来のチカラ

「教育は日立市で」と誇れる教育環境をめざし、すべての普通教室への電子黒板の配備や指導用デジタル教科書の導入などによる学校教育の質の向上を図っています。

また、小中学校の授業にNIE (Newspaper In Education 「教育に新聞を」) を取り入れ、新聞を活用して読解力や思考力、社会とのつながりを育む教育を進めています。

「日立理科クラブ」や「文化少年団」、「職業探検少年団」、「ひたち市民オペラ」など、学校以外の学びの場も充実。特に、「日立理科クラブ」は、日立市ならではのものづくりのエキスパートたちによる理数教育活動を進めています。

学びと文化の拠点も充実。シビックセンターや郷土博物館、かみね動物園があり、図書館は4つもあります。

池の川さくらアリーナや会瀬スポーツ広場など、スポーツ施設も充実。81の「スポーツ少年団」が活動しています。



文化少年団

子どもたちが文化活動に触れ、体験できる少年団です。現在、茶道、民謡、将棋、囲碁、舞踊、書道、能楽、華道、弦楽合奏、宇宙、発明、ふるさと文化、合唱、手編み、太鼓など25の少年団が活動しています。



日立理科クラブ

日立製作所OBや元教員が小中学生の理数教育を支援しています。理科授業の支援を行う「理科室のおじさん」、実験や演習を行う「理数アカデミー」、モノづくり体験をする「モノづくり工房」などの活動をしています。



ひたちらしさが育む
Education the Hitachi Way

日立市の学び

職業探検少年団



子どもたちが各種の職業を体験することができる、全国でも珍しい少年団です。現在、農業、林業、水産業、ものづくり、パソコン、福祉・医療、科学、建築デザイン、観光、メディア、あきんどの11の少年団があります。

ラジオ体操



ラジオ体操考案者の一人が、日立市出身の遠山喜一郎さん。日立市ではラジオ体操を「郷土の宝」として、取組人口をさらに拡大・定着させるための活動をしています。

ラジオ体操考案者
日立市出身
遠山喜一郎さん



(完成イメージ)

市民運動公園野球場

少年野球からトップレベルの野球まで、誰もが楽しめる野球場の再整備を進めています。令和8年7月供用開始予定。



池の川さくらアリーナ

メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、弓道場、トレーニングルームを備え、周りには陸上競技場、テニスコート、野球場、ジョギングコース、パンポンコートがあります。



かみね動物園

「楽しく入って、学んで出られる動物園」をモットーに、動物本来の自然な姿が見られるよう展示を工夫。餌やり体験など、動物と触れ合えるイベントが充実しています。



郷土博物館

日立市に関わる考古・歴史・産業・民俗・美術資料を収集・保存・研究・展示しています。また、年数回、特定のテーマによる展示会を開催しています。



図書館

記念図書館、十王図書館、多賀図書館、南部図書館の4つの図書館に加え、移動図書館「たかすず号」が市内を循環。電子書籍が借りられるサービスもあります。



シビックセンター

遊びながら学べる科学館「サクリエ」、世界最高峰のシステムを備えたプラネタリウム「天球劇場」、見事な音響の「音楽ホール」、など、市民の知的文化活動を支える総合文化施設です。

世代を超えて、学びが息づく
学びと文化の拠点

世界に開かれたものづくりのまち



明治時代、日立鉾山が創業。その後、鉾山で使う機械の修理工場を起源とする日立製作所が誕生しました。日立市は、グローバル展開する大企業を中心に多くの関連企業が集積し、世界に誇る「ものづくりの歴史」を築いてきました。

「茨城港日立港区」は世界への玄関口として、北関東における重要な物流拠点としての役割をになっています。

釧路港との定期航路により、北海道から送られる新鮮な生乳や農産品が首都圏の食卓へ届けられているほか、完成自動車の取り扱い拠点としてメルセデス・ベンツの国内最大の輸入港、日産自動車の北米向け輸出港となっています。

東京ガス日立LNG基地では、オーストラリアなどから輸入された液化天然ガス(LNG)から都市ガスを製造し、パイプラインなどを通じて、主に北関東の企業や家庭へと供給し、首都圏を支えるエネルギー供給拠点として重要な役割を担っています。

100年を超える ものづくりの歴史をつなぐ

ものづくり企業が集積し、ものづくりの技術者が多いことが、日立市の大切な産業基盤です。(従業員4人以上の事業者数は、県内市町村別で2番目です)

全国から選抜された青年技能者(満23歳以下)が技能レベル日本一を競う「技能五輪全国大会」や世界一を競う「技能五輪国際大会」では、市内事業所から出場した選手が金賞を受賞するなど活躍しています。

日立市の発展を支えた先人たちの「ものづくり」の遺伝子は、確実に次の世代に引き継がれています。



中小企業の

脱炭素経営支援

共創!

日立市は、日立製作所と連携し、デジタル技術を活用した地域産業の脱炭素化の促進により「グリーンエネルギー」で産業を豊かにするまちをめざしています。

その取組の一つとして、CO2排出量の見える化から排出量削減の進捗管理まで行えるシステムの無償提供などにより、中小企業の取組をサポートしています。このシステムを活用する中小企業では、省エネ型の設備に切り替えるなど、排出量の削減に取り組みることにより、自社の脱炭素化を進めています。

私たちの仕事場

マイクロクリエイション オフィス

マイクロクリエイションオフィスは、創業期の事業者が低廉な料金で使用できるレンタルオフィスです。店舗型、事務所型、シェアキッチンを備えたコワーキング施設など、機能が異なる施設が市内に5つあります。

- ・かどや
- ・ひたたちが
- ・晴耕雨読
- ・ミカケル
- ・日立地区産業支援センター



晴耕雨読

産業支援センター

日立地区産業支援センターは、茨城県北地区の産業の高度化・活性化を支援する中核拠点です。人材確保・育成、競争力強化、受注・顧客開拓、新製品・新技術開発、創業支援、経営者啓発等の事業を通じ、地域産業の活性化を図っています。



地場食材の力

会瀬定置市

日立市沖は、黒潮と親潮が交差する好漁場。シラス、サバ、ブリ、メヒカリ、アンコウ、イカ、タコなどさまざまな魚種が水揚げされています。

会瀬漁港では、県内唯一の定置網漁で獲れた魚を販売するイベントが開催されています。



茂宮かぼちゃ塾

甘味が強く、栗のようなポクポクとした食感の日立市地域ブランド認定品「茂宮かぼちゃ」。この貴重な作物を後世に継承していくため、かぼちゃ栽培のノウハウを学び、生産者を目指す「茂宮かぼちゃ塾」を開催しています。

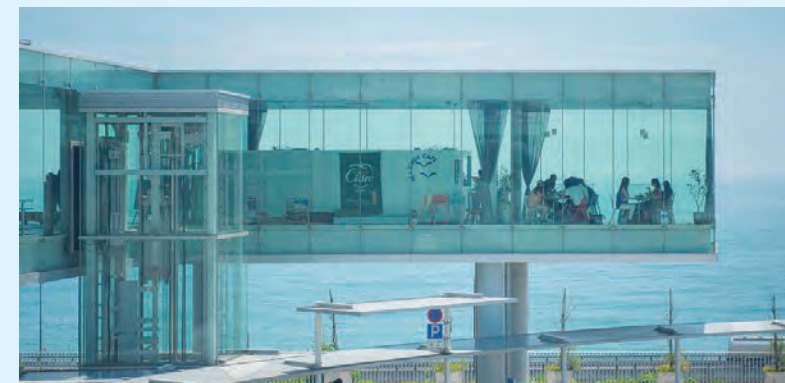


ひたち都市網

5つの駅でつなぐ日立のまち

日立市は、コンパクトで暮らしやすい持続可能なまちを実現するため、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の都市構造をめざしています。JR常磐線の駅前を都市拠点、各地に分布しているショッピングセンター周辺などを生活拠点として、各拠点間と住宅団地などを公共交通のネットワークで結ぶことで、生活や移動を維持・便利にしていこうという考え方です。

具体的には、「日立駅前の活性化」や「常陸多賀駅周辺地区整備事業」などを通じて都市の拠点性を高め、「ひたちBRT」などの公共交通でつなぐ取組を進めています。



JR日立駅 HITACHI

海が見える美しい駅として人々に愛される駅。日立市出身の妹島和世氏がデザインを監修し、平成26年に鉄道の国際デザインコンペティション「ブルネル賞駅舎部門」で優秀賞を受賞しています。駅周辺には、商業施設「ヒタチエ」や総合文化施設「シビックセンター」があり、駅前のにぎわいづくりや活性化のためのイベント、ワークショップ等が開催されています。



JR常陸多賀駅 HITACHI TAGA

多賀地区は市内でもっとも人口が多いエリアで、駅周辺には商店街や大規模事業所が隣接し、住まいと商業、就業の場がコンパクトにまとまった市街地が形成されています。にぎわい・交流の拠点となる駅前空間は、ひたちBRTの発着拠点としての役割も担っており、現在、新しい駅舎や自由通路、東口広場など、一体的な拠点整備を進めています。

スマートモビリティ都市

BRTがつなぐ日立のまち

BUS RAPID TRANSIT — バス高速輸送システム —

ひたちBRT(バス・ラピッド・トランジット)は、平成17年に廃線となった「日立電鉄線」の線路跡地などを活用して、道の駅日立おさかなセンターからJR常陸多賀駅までを運行しています(総延長8.7kmのうち、バス専用道路6.1km)。専用道路を活用していることから、時刻表通りスムーズに移動できます。

現在、さらにJR日立駅までの延伸を計画し、南北移動の基軸となるバス交通の確立をめざしています。

令和3年から、経済産業省と国土交通省により自動運転バスの実証実験が行なわれ、令和7年2月から自動運転レベル4による営業運行を開始しています(中型バスでの営業運行は、国内初!)。自動運転バスの実用化により、人手不足の解消や安全性の向上が期待されています。



公共交通のスマート化

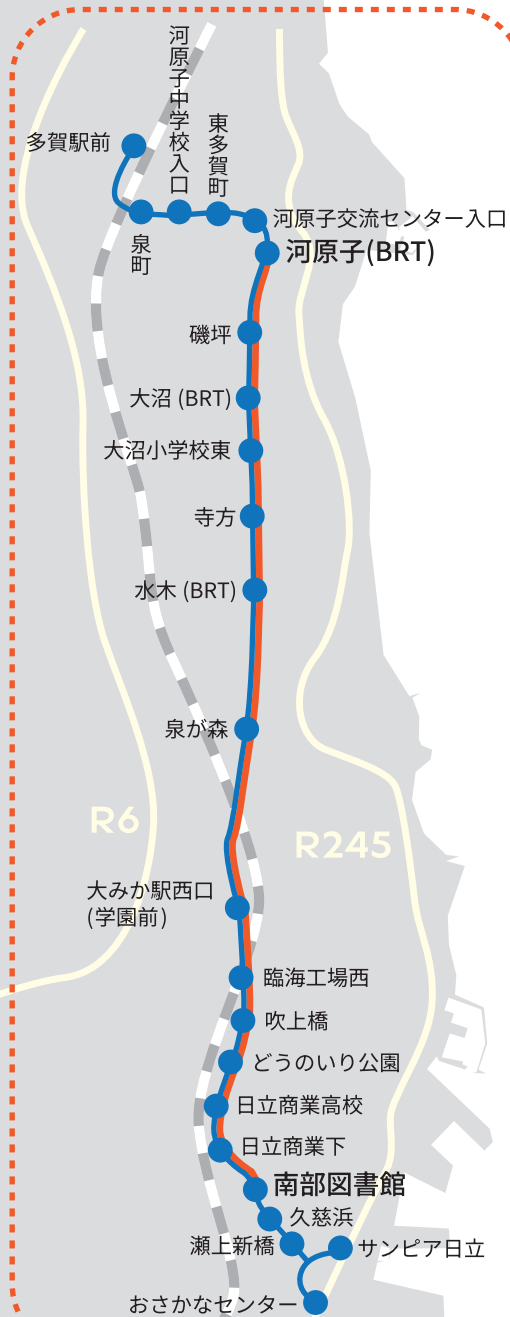
共創!

慢性的な幹線道路の交通渋滞や、高齢者や運転免許返納者などの移動手段の確保といった、交通・移動に関する課題を解決するため、デジタル技術を活用した効率的な交通施策の検討や、次世代モビリティを用いた新しい移動の仕組みの構築などを進めています。

これらの取組を地域住民や地元企業、交通事業者などと連携して進めることで、誰もが移動しやすいまちの実現をめざします。

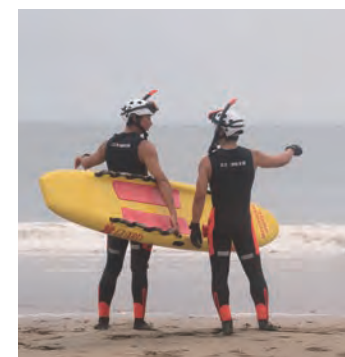


ひたちBRT路線
バス専用道路



「もしも」に備え、「いつも」を支える

01 SHOBO HITACHI



日立市は、生活環境を守るための施策として、特に消防に力を入れ、火災の予防や消火、救急、救助など、市民一人ひとりの安心安全な暮らしを守っています。市内には消防本部をはじめ、4つの消防署、2つの出張所、1つの派出所があり、日々、消防士や救急救命士などがその業務に当たっています。

また、市民や企業との協力により煙害を克服した歴史を持つ日立市は、「環境都市・日立」を宣言し、自然環境と産業の調和した持続可能な社会の創造に向けて、様々な環境への取組を積極的に進めてきました。



日立の暮らしを守る、7つのチカラ



ドクターカー、ラピッドカーの同時運用は日立市だけ！



県内8か所のみ配置される高度救助隊



海や河川が身近にある日立市ならではの水難救助隊



県内1位を誇る救急対応スピード！
(令和6年度茨城県消防防災年報)



市内コンビニエンスストア全店へのAED設置



県内初！土砂・風水害に特化した車両の配置



林野火災予防パトロールや迅速な出動に対応する赤バイク

119番通報を受けてから病院へ収容するまでの時間は、平均40.2分で県内一。救急隊員は、日頃から活動訓練を積み重ね、的確な処置、迅速な医療機関への搬送をめざしています。

02 BOUSAI



日立市防災WEBポータル

日立市では、デジタル技術を活用して気象情報や被害情報などを収集・管理する「総合防災情報システム」を整備し、台風や地震、津波などの災害時に、市民がスマホやパソコンから各種情報を簡単・スピーディーに確認できる「日立市防災WEBポータル」の運用を令和7年9月から開始しています。また、災害時に限らず通常時においても、市内に発表中の気象情報や地震情報のほか、災害危険箇所ライブカメラの映像やハザードマップ、災害に備えた事前の対策など、各種防災情報を確認することができます。



03 LIFELINE INFRASTRUCTURE



上下水道普及率約100% 全国トップレベルの安心のインフラ

日立市の水道は99.4%、下水道は98.3%と、ほぼ100%に近い普及率を誇ります。老朽化が進む水道管等の更新を計画的に進め、災害に強いライフラインを構築し、日常生活に欠かすことのできない安全・安心で美味しい水を提供しています。



水道・下水道PRキャラクター すいペン アザまる

遊んでまなぶエコのこと

エコフェスひたち

日立市は、市民、事業者、行政が協働して環境情報の提供及び環境問題への意識の向上を図るために、「エコフェスひたち」を開催しています。「エコフェスひたち」は、県内最大級の環境イベント。環境の保全などに取り組む企業の製品や技術の紹介、市内で活動している環境団体の活動内容の紹介などのほか、クイズや実験を通して楽しく環境を学べるブースが並びます。



人がつながり、まちは育つ

日立市では、コミュニティをはじめ、NPO法人、ボランティアなどの各種団体、企業、大学などと連携・協働することで、きめ細やかなまちづくりを進めてきました。

日立市コミュニティ推進協議会は、昭和50年に発足し、自分たちの住む地域への愛着を深め、住みよいまちづくりを進めるため「自分の地域は自分の創意と努力でつくり上げる」の理念のもと、各地域の特色をいかした活動を展開し、令和7年に設立50周年を迎えました。地域の行事や防災、子どもたちの見守り、福祉活動など、幅広い分野で活動が行われ、まちづくりの基盤となっています。



会員5,000人突破！
(令和7年11月)



公式LINEに登録して
今すぐ入会しよう！
(無料)

ひたちファンクラブ

シティプロモーションの新たな取組として、令和7年10月12日に市公式「ひたちファンクラブ」を設立しました。
ひたちファンクラブは、日立市が好きな方・応援して下さる方(ファン)と市がつながり、市のさまざまな魅力を発見・発信しながら、共に魅力あるまちづくりを目指すものです。ひたちファンクラブ公式LINEに「友だち登録」することで会員になることができます。
ひたちファンクラブ公式LINEでの情報発信や子どもから大人まで楽しめるイベント、このまちで豊かに暮らすためのワークショップなどを開催して、自分たちの手で日立市を魅力的なまちにする活動の仲間を増やしていきます。

さくらをいかしたまちづくり

企業と市民が協働して、煙害で荒れた山にオシマザクラを、まちにソメイヨシノを植えたことが、さくらのまち立の始まりです。
鞍掛山には、大正・昭和時代に日立鉱山が植林したオシマザクラなどの桜の子孫約520本があり、「100年後に200本のサクラの巨木がある山づくり」が進められています。

先人たちが受け継いできた日立市の宝である桜を次の世代に引き継ぐため、日立市は令和元年7月に「さくら課」を新設して「さくらのまちづくり」を進め、平和通りをはじめとする桜の保全活動や啓発活動などを行っています。



オシマザクラ



鞍掛山での保全活動



市民の皆さんが行政サービスをより身近に、より便利に感じていただけるよう、オンライン申請・施設予約・電子書籍サービスなどを、スマホやパソコンからいつでも、気軽にご利用いただけるようにしています。
ぜひご利用ください！

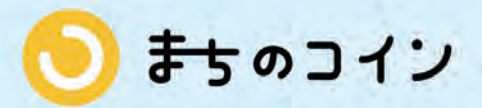
スマホで、PCで、
かんたん便利！



スマホはこちらのQRコードからアクセスできます。

日立市 スマート窓口 検索

暮らして楽しいまちを創るコミュニティ通貨アプリ



まちのコインとは、ひと・まち・地球にうれしい体験で地域とつながるコミュニティ通貨(地域通貨)アプリです。スマートフォンを使って利用することができます。
地域のちょっとしたお手伝いごとやSDGsにつながる活動に参加するとコインをためることができ、お金で買えない特別なことに使うことができます。

まちのコインで出会えるうれしい体験

もらったコインは地域のお店・施設で使うことができます。たとえば、ソフトクリームひと巻き増量、トッピングサービスなど、ちょっとオトクな小さな幸せに会えます。

- 1 つながりが生まれる
- 2 だれかの役に立つ
- 3 ちょっとオトク

ビーチクリーンに参加する
海がきれいになる
貯まったコインでちょっとオトクにコーヒーを飲む

アプリをダウンロード

play google



app store



歴史をひもとく

日立は五億年前からはじまった

日本最古の地層があるまち

平成20年茨城大学名誉教授の田切美智雄らは、小木津山自然公園入口付近にある花崗岩が約5億年前のカンブリア紀の、日本最古の地層であることを発見しました。

日立の地層は、カンブリア紀に Gondwana 超大陸のはずれでプレートの沈み込みによって生じたマグマから形成されました。その後赤道付近に移動し、次に北上して中国東北部付近に移動。日本列島がユーラシア大陸から分かれる際に現在の位置に運ばれてきました。

市内にはカンブリア紀の地層が広がり、小木津山自然公園やかみね公園、御岩山など身近な場所で見ることができます。

5億年前



713

常世の国

和銅6年(713年)の元明天皇による命令により奈良時代に編纂された『常陸国風土記』で、日立地方を含む常陸国は、豊かな実りのある理想郷「常世の国」として描かれています。

老若男女が集い飲食に興じた「密筑の里の大井」(水木町。泉が森の湧水)など、市内には風土記ゆかりの地が数多くあります。

「藻島駅家(めしまのうまや)」は当時の中央政府が整備した官道の人馬の休憩所のひとつで、国指定史跡・長者山遺跡はその有力な候補地です。

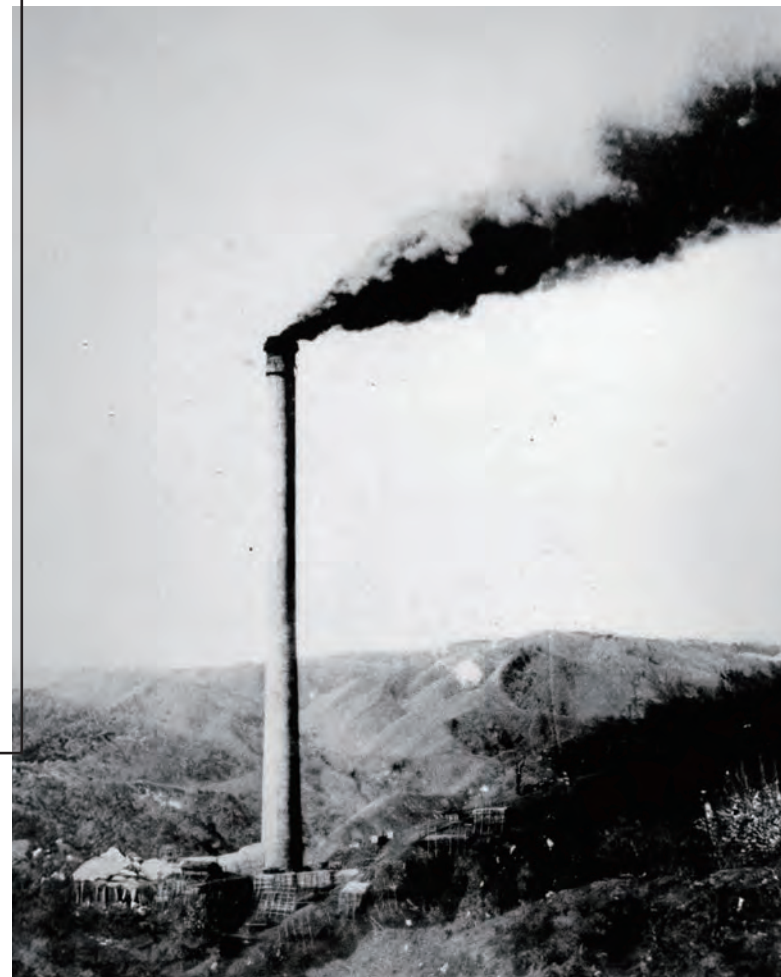
1897

別荘地だったまち

明治30年(1897年)に常磐線が開通すると、日立地方は「気候温暖で風光明媚の地」として知られるようになり、別荘を構える人たちが増え、海水浴旅館もでき、保養地として発展しました。

会瀬舟入の坂の上にあった笹沼別荘は、東京日本橋の日本最初の中国料理店(偕楽園)の笹沼源之助のものでした。小説家・谷崎潤一郎は、明治42年に静養のためにこの別荘に滞在し、その直後に発表した「刺青」が出世作となりました。

1905



大煙突とさくらの物語

日立には、赤沢銅山と呼ばれる鉱山があり、江戸時代以前から銅が採掘されていました。明治38年(1905年)、この銅山を買い受けた久原房之助は日立鉱山を創業し、採掘と製錬の技術を革新して、短期間で日立鉱山を日本の四大鉱山のひとつにまで発展させました。

しかし、製錬による煙害で田畑は荒れ、山林ははげ山となってしまいました。この煙害は大正4年(1915年)3月に稼働し始めた当時世界一の高さであった155.7mの大煙突と、気象状況に合わせて操業を制限する制限浴鉱により解決に向かいました。大煙突は、煙害の実態を粘り強く鉱山側に訴えた住民側代表の関右馬允とそれに誠実に対応した鉱山側窓口の角弥太郎らの尽力、そして建設を決めた久原の英断によって完成したものです。

住民と企業が協力して環境問題を解決したこの史実は、新田次郎の小説「ある町の高い煙突」に描かれ、令和元年には映画化もされました。

大煙突の建設後、荒廃した山々に緑を取り戻すために、約500万本の植林が開始されます。その時に煙害に強いオオシマザクラが植えられたのが、日立が「さくらのまち」になる始まりです。

1910

ものづくりのまちへ

明治43年(1910年)に日立鉱山の電気機械修理工場で小平浪平らが自分たちで五馬力誘導電動機を設計・製作したことをきっかけに日立製作所が創業。その発展とともに産業が集積し、人口が増加していきました。

太平洋戦争末期には、工場を中心に戦災に見舞われましたが、戦後の高度経済成長の過程で「ものづくりのまち」として復興、発展を遂げ、昭和58年(1983年)には市の人口が20万6千人を突破しました。



乙ノ番九川助話電(下廊) 館磐常 館峯(濱海川勢陸常)



2019 (平成31年 / 令和元年)
 日立市役所新庁舎がオープン。
 Hiタッチらんど・ハレニコ!がオープン。
 SEA MARK SQUAREがオープン。

2021 (令和3年)
 シビックセンター科学館が「サクリエ」
 としてリニューアルオープン。

2023 (令和5年)
 日立駅前商業施設「ヒタチエ」が
 オープン。

1990 (平成2年)
 シビックセンター、新都市広場が
 オープン。

1993 (平成5年)
 大煙突が3分の1を残して倒壊。
 日立中央インターチェンジが開通。

1994 (平成6年)
 奥日立きららの里がオープン。

1999 (平成11年)
 日立地区産業支援センターが
 オープン。

2004 (平成16年)
 十王町が編入合併する。
 吉田正音楽記念館がオープン。

2008 (平成20年)
 国道6号日立バイパス
 日立シーサイドロードが開通。

1939 (昭和14年)
 日立町と助川町が合併し、日立市
 となる。

1945 (昭和20年)
 終戦直前の爆撃等により、当時の
 市内の約7割が灰となる。

1948 (昭和23年)
 かみね公園の整備に着手する。

1951 (昭和26年)
 平和通りが開通し、街路樹として
 桜を植樹する。

1952 (昭和27年)
 日立市天気相談所が誕生する。

1955 (昭和30年)
 多賀町、日高村、久慈町、中里村、
 坂本村、東小沢村が編入合併する。
 翌年には、豊浦町が編入合併する。

1910 (明治43年)
 日立鉱山の電気機械部門が独立し、
 小平浪平が日立製作所を創業する。

1915 (大正4年)
 大煙突の使用が開始され、日立鉱山の
 煙害問題が解決へと向かう。

1917 (大正6年)
 共楽館（現日立武道館）が建設される。



1924 (大正13年)
 多賀郡日立村が多賀郡日立町になる。

1836
やまのべよしみ
 徳川斉昭が家老山野邊義親を海防
 総司に任じ、助川海防城を築かせる。

1839
 水戸藩郷校暇修館が開かれる。

1871 (明治4年)
 藩置県により、日立地方は
 茨城県の管轄となる。

1889 (明治22年)
 宮田村と滑川村が合併し、
 多賀郡日立村が誕生する。

1898 (明治30年)
 常磐線が開通し、日立地方には大壘、
 下孫(常陸多賀)、助川(日立)、川尻
 (十王)の4駅が設けられる。
 (小木津駅は、明治43年に開設)

成り立ちの
 ひたちの

713
 『常陸国風土記』が編纂される。

1131
 佐竹昌義が佐竹郷に定住して、
 以後400余年にわたり常陸国を
 統治する。
 ※日立地方が佐竹の支配下に

2019

1990

1939

1910

1836

713

2009

2009 (平成21年)
 日立風流物がユネスコ無形文化遺産になる。

2011 (平成23年)



3月11日、東日本大震災が発生。海岸部を中心に
 市全域で大きな被害を受ける。



4月7日、日立駅自由通路・橋上駅舎が供用開始。

2013 (平成25年)
 新交通(ひたちBRT)が運行を開始する。

2017 (平成29年)
 新体育館「池の川さくらアリーナ」がオープン。

1957

1957 (昭和32年)
 かみね動物園が開園する。

1958 (昭和33年)
 日立風流物の山車1台が復元され、
 21年ぶりに公開される。

1960 (昭和35年)
 鉱山電車が廃止される。

1967 (昭和42年)
 日立港が開港し、重要港湾に指定される。

1970 (昭和45年)
 銀座通りが歩行者天国となる。
 ※東京銀座よりも2日早かった。(2005年まで実施された)

1981 (昭和56年)
 日立鉱山が閉山する。

1985 (昭和60年)
 常磐自動車道が日立北インターチェンジまで開通する。



1905

1905 (明治38年)
 久原房之助が赤沢銅山を日立鉱山として創業する。

1908 (明治41年)
 大雄院製錬所が建設される。
 鉱山電車が助川から大雄院までの5.3kmの運転を始める。
 ※鉱山電車は、全国から買鉱した銅鉱石を助川駅から大雄院
 精錬所に運ぶために建設され、後に一般市民も乗せるよう
 になった。(誰もが無料で乗れた)



1602

1602
 佐竹氏が秋田へ移封される。

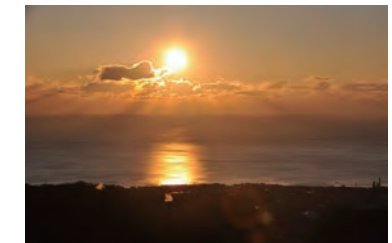
1609
 日立地方が水戸藩領となる。

1695
 水戸藩主徳川光圀の命により、神峰神社が宮田、助川、会瀬
 3村の鎮守になり、氏子たちが造った山車が祭礼に繰り出す
 ようになる。

※日立風流物の始まり。享保年間(1716~1736年)に人形芝居が
 組み込まれ、今日の形に発展した。


この頃、光圀が海から昇る朝日の美しさに
 「日の立ち昇るところ領内一」
 と称えたと伝えられている。

※この故事が、「日立」の地名の由来となった。



日立市の魅力である「ひたちらしさ」を広く国内外に紹介し、本市のイメージアップと認知度の向上を図るため、日立市出身者またはゆかりのある方に「ふるさと日立大使」を委嘱しています。(令和7年10月現在14名、順不同・敬称略)


日立駅




ガラス張りで太平洋を一望できる美しい駅。平成26年にブルネル賞「駅舎部門」で優秀賞を受賞。日立市出身の妹島和世氏がデザインを監修。

海水浴場

白砂青松の「伊師浜」、磯のある「会瀬」、サーフィンの名所「河原子」、灯台のある「久慈浜」など、日立市には茨城県内最多の6つの海水浴場があります。




鵜の岬



宿泊利用率が36年連続で全国1位の国民宿舎。太平洋を一望できる白砂青松の岬にある温泉宿で、常陸牛や地魚など地元食材を使った料理が人気です。

ウミウ捕獲技術

鵜の岬には、1,300年の歴史を有する「鵜飼」を支える、日本唯一のウミウ捕獲場があります。その歴史は江戸時代まで遡り、全国に鵜を供給しています。

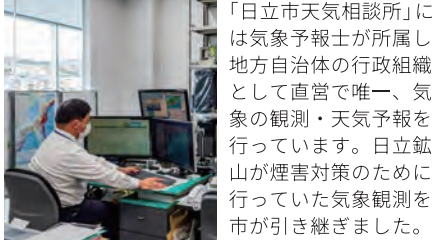


日立 LNG 基地



オーストラリアなどから輸入されたLNG(液化天然ガス)から都市ガスを製造。LNGタンクの大きさは直径約90m、高さ60mで、地上式タンクとしては世界最大級です。

日立市天気相談所



「日立市天気相談所」には気象予報士が所属し、地方自治体の行政組織として直営で唯一、気象の観測・天気予報を行っています。日立鉱山が煙害対策のために進めていた気象観測を市が引き継ぎました。


共楽館 (現日立武道館)



大正6年に日立鉱山の福利厚生施設として建てられた「共楽館」は、鉱山で働く人たちがとまちな人たちと一緒に楽しむ劇場でした。平成11年に国登録有形文化財に指定。

大煙突

日立鉱山の煙害問題解決のために大正3年に建てられた大煙突は、高さ155.7mで当時世界一。1/3の高さになってしまった今も、まちを見守っています。




日本最古の地層



市内には、日本最古となる約5億年前のカンプリア紀の地層があります。小木津山自然公園やかみね公園、御岩山など身近な場所で観察できます。

日立紅寒桜



日立紅寒桜は、日立市固有の桜。花は一重、淡い紅色で、1月中旬に咲き始め、3月上旬に見頃を迎える。ひと足早く春の訪れを告げ、長い間花を楽しめます。

日立風流物



高さ15mにも及ぶ巨大な山車を舞台にからくり人形による芝居が繰り広げられる。国指定重要有形・無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産です。

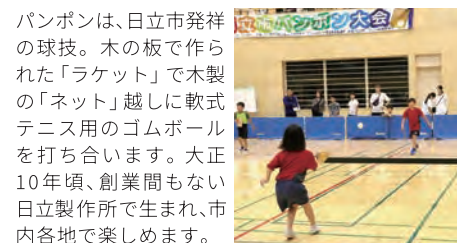
日立市の オンライン ナンバーワン

きららの里 ワクワクスライダー



自然体験型のレクリエーション施設「奥日立きららの里」には、日本一の長さ(1,188m)の「ワクワクスライダー」があり、最高時速30km/hで滑り降りることができます。

パンポン



パンポンは、日立市発祥の球技。木の板で作られた「ラケット」で木製の「ネット」越しに軟式テニス用のゴムボールを打ち合います。大正10年頃、創業間もない日立製作所で生まれ、市内各地で楽しめます。

ランドセル・スクールカバン贈呈



日立市では、ランドセルは市がプレゼントしてくれるもの。昭和50年から、小学校に入学する新1年生に軽くて丈夫なランドセルを市が贈呈。令和2年度からは新中学1年生へもスクールカバンを贈呈しています。



ミウラナオコ
イラストレーター
(茨城国体マスコットキャラクター「いばラッキー」作者)



関 あつし
漫才師
(母心)



岡部 麟
タレント / 俳優



岡部 磨知
バイオリニスト



櫻井 剛
脚本家
(NHK朝ドラ「プギウギ」「ブラッサム」)
※2026年秋放送予定



妹島 和世
建築家
(日立駅、日立市役所デザイン監修)



井出 麻渡
俳優
(映画「ある町の高い煙突」主演)



松永 K 三蔵
小説家
山岳小説「バリ山行」で第171回芥川賞を受賞



上妻 宏光
三味線奏者
ひたち秋祭り
総合プロデューサー



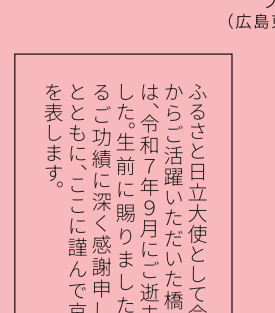
會澤 翼
プロ野球選手
(広島東洋カープ捕手)



神保 佳永
JIMBO MINAMI AOYAMA
オーナーシェフ



本間 幸司
元プロサッカー選手
(水戸ホーリーホックGM)



おかゆ
おんなギター流し / シンガーソングライター
吉田メロディー継承アーティスト



KATSUMI
シンガーソングライター
ラジオパーソナリティ

マロひ ツケた ブ地ち

日立市内では、映画やテレビドラマ、バラエティ番組、ミュージックビデオ(MV)など、さまざまな撮影が行われています。

「かみね公園」は、海を見渡せる頂上広場や動物園、遊園地、レジャーランドを備え、ドラマやCMのロケ地として人気NO.1。

世界でもっとも美しい駅のひとつとして評価の高い「日立駅」は、展望イベントホールから望む水平線の景色が雑誌やミュージックビデオなどの撮影シーンで数多く使用されています。

近未来的な外観が特徴的な「シビックセンター」では、ミュージックビデオや映画、ドラマ、CMなどの撮影が、「太田尻海岸」をはじめとする海岸や海水浴場では、映画やCMなどの撮影が数多く行われています。



2



3



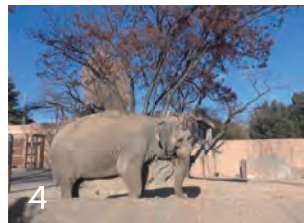
6



7



5



4



1



6 日立駅

- ・バラエティ「かりそめ天国」
- ・バラエティ「スクール革命！」
- ・MV 22/7(ナナブンノニジュウニ)「YESとNOの間に」
- ・WEB CM「森永乳業」
- ・WEB動画「AISLE」
- ・スチール「Silver No27」
- ・スチール「岡部麟ファースト写真集 エスカルゴ」

7 シビックセンター

- ・映画「君と世界が終わる日に FINAL」
- ・MV 乃木坂46「落とし物」
- ・MV 僕が見たかった青空「恋は倍速」
- ・MV WEST.「FICTION」
- ・スチール「エル・ジャポン」

3 かみね公園 頂上

- ・映画「牙狼<GARO>TAIGA」
- ・映画館 CM「日立の街で、これまで、これからも」
- ・WEB動画「みらいふるさと by RESAS」

4 かみね動物園

- ・映画「魔女の宅急便(実写版)」
- ・映画「旭山動物園物語ペンギンが空を飛ぶ」
- ・ドラマ「君の花になる」
- ・ドラマ「ライオンの隠れ家」
- ・スチール「SHISHAMO カレンダー」

5 太田尻海岸

- ・映画「四月になれば彼女は」
- ・映画「ある町の高い煙突」
- ・映画「武蔵-むさし-」

1 かみねレジャーランド

- ・映画「ボクたちの反抗旗」
- ・ドラマ「仮面ライダーギーツ」
- ・ドラマ「今日からヒットマン」
- ・ドラマ「じゃあ、あんたが作ってみよう」
- ・バラエティ「芸能人が本気で考えた!ドッキリGP」
- ・TVCM「spotify」
- ・スチール「ABC MART」

2 かみね遊園地

- ・MV SEKAI NO OWARI「凶鑑」
- ・スチール「SHISHAMOカレンダー」

かみね公園
KAMINE PARK

太陽光発電や蓄電池、エネファームで快適な暮らしを。



東京ガス日立リビングサービス
エネスタ日立 Enesta
日立市幸町1-22-2
TG日立ビル1F
営業時間:月~土曜日/10:00~17:00
定休日:日曜日、祝日、年末年始
0294 (85) 8448
〈ホームページ〉
https://es-hitachi.jp/

お住まいのこと、何でもご相談を。
オール電化、LPGのお客さまにも対応いたします。

高速インターネットとテレビなら



ケーブルテレビ JWAY
日立市幸町1-19-1
0120-816-454 https://jway.jp



奥日立きららの里
かみね遊園地
ホリゾンかみね
かみね市民プール
かみねレジャーランド

公益財団法人
日立市公園協会
〒317-0055
茨城県日立市宮田町
5-2-22
TEL:0294-22-4737
FAX:0294-22-4740

地域に愛され地域に選ばれる
地域と共に発展する学校



MEISHU HITACHI
明秀学園日立高等学校

HITACHI

創業の地・茨城とともに。
未来を創る金属を造る。



JX JX金属
鋼、どう?

JX金属株式会社 茨城事業所
〒317-0056 茨城県日立市白旗町一丁目1番2号
TEL:0294(23)7130



茨城県立国民宿舎
鵜の山 UNOMISAKI
〒319-1393 茨城県日立市十王町伊師640
お問い合わせ TEL. 0294-39-2202
お申込みは



DATA of HITACHI 数字で見る日立市

参考 日立市の統計(2025年版)

位置/面積
極東 東経 140°43'
極西 東経 140°31'
東西 17.9km
極南 北緯 36°29'
極北 北緯 36°43'
南北 26.3km
面積 225.73km²

人口
159,361人
(令和8年2月1日現在)

世帯数
75,725世帯
(令和8年2月1日現在)

婚姻
1日 1.2組

出生
1日 1.8人

幼児施設数
幼稚園 市立3園 私立9園
保育園 市立9園 私立9園
認定こども園 市立2園 私立14園
家庭の保育事業所 私立2事業所

産業別人口(割合)
第1次産業 863人 (1.2%)
第2次産業 25,222人 (33.9%)
第3次産業 47,021人 (63.1%)
(令和2年10月1日現在)

市の予算
市民1人当たり 471,828円

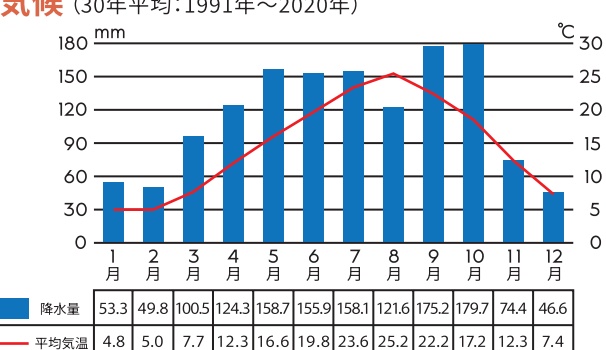
小学校数
市立23校 私立1校

上下水道人口普及率
水道 99.4% (令和6年3月31日時点)
下水道 98.3% (令和6年3月31日時点)

中学校数
市立14校 私立1校 県立1校

高等学校数
8校

気候 (30年平均: 1991年~2020年)



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
降水量 (mm)	53.3	49.8	100.5	124.3	158.7	155.9	158.1	121.6	175.2	179.7	74.4	46.6
平均気温 (°C)	4.8	5.0	7.7	12.3	16.6	19.8	23.6	25.2	22.2	17.2	12.3	7.4

自警団体数/団員数
団体数 83団体
団員数 2,703人

消防分団数・団員数
分団数 27分団
団員数 361人

交流センター数
23施設

大学数
国立1校 私立1校

図書館数
市立4館
蔵書数 801,981冊
貸出数 1,019,666冊
登録者数 107,888人

特別支援学校
市立1校

義務教育学校
市立1校

JR常磐線乗客数
日立駅 8,784人
常陸多賀駅 5,566人
大甕駅 8,444人
小木津駅 1,980人
十王駅 2,549人

乗用自動車
1世帯当たり 1.4台 (軽四輪含む)

交通事故
1日 0.8件

桜の本数
平和通り 約120本
かみね公園 約1,000本
鞍掛山 約520本
十王パノラマ公園 約400本

救急出動
10,410件 (1日28.5件)

火災
44件 (1日0.1件)

市のシンボル

市章
「日立」の「日」の字は、円で型取り、「立」を極めて巧妙な花に図案化し「日立」の2文字を現わしています。

市の鳥 ウミウ
太平洋から立ち昇る大きな太陽を全身に浴びて輝いている市の鳥「ウミウ」の姿をデザイン化しました。

市の花 さくら
ひたちの「ひ」の文字が5枚の花びらを構成するデザイン。市民が手と手をつなぎあい、市の花として大切に守り育ていくことを表現しています。

市のさかな さくらダコ
大きくて元気な「さくらダコ」をイメージしてデザイン化しました。

市の木 ケヤキ
日立市民によるあたたかく、力強い腕の輪によって、市の木を永遠に保存しようとする想いと、日立という文字を象徴的に融合してデザイン化しました。

イメージマーク
日の立ち昇るところ領内一と言われた日の光の輝き、市の花さくらや太平洋に開けた豊かな大地に恵まれ、創造、触れあい、ゆとり、潤いに満ちて飛翔する市民の喜びをイメージしてデザイン化しました。

姉妹都市、親善・友好都市

バーミングハム市 (アメリカ合衆国アラバマ州)
鉄鋼業のつながりで、かみね公園に同市から贈られたバルカン像(ローマ神話に登場する火と鍛冶の神)がある。

タウランガ市 (ニュージーランド)
ニュージーランド最大の商業港を有するまち。市民みこし訪問団や青少年の交流をきっかけに。

桐生市 (群馬県)
古くからの織物のまち。桐生市の子どもたちが毎年夏の臨海子ども会で日立市を訪れていたことがきっかけ。

山辺町 (山形県)
古くから繊維産業が盛ん。さくらんぼなど、果物の産地。助川海防城の初代城主に山辺町出身の山野邊義親公が任命された歴史的な結びつきを縁に。